

歴史の海に飛び込もう！

問い合わせ／生涯学習課文化・文化財担当(内線3340)

市内にはさまざまな歴史を持った文化財があり、古くから伝わる地名、伝承があります。

例えば「笠原」という地名の歴史をみてみると、8世紀に編纂された「日本書紀」に記載されている武蔵国造の乱で登場する笠原直使主かさはらのあたのおみを由来とする説があります。笠原直使主は笠原を拠点とした豪族と考えられており、県内で初めて国の特別史跡に指定された埼玉古墳群（行田市）との関連も研究されています。さらに10世紀に編纂された『倭名類聚』に記載があり、「笠原」は現在まで残っている市内の地名で確認できる最も古い地名です。

また、滝馬室地域に伝承されている「的祭」は、平安時代に征夷大將軍に任命された坂上田村麻呂が、東北鎮圧の際に当地域に立ち寄り、田畑を荒らしまわっていた悪竜を矢で射貫いて退治したことが起源とされています。

このほかにも、多くの先人たちの活躍があり今日があります。『鴻巣市史』には市内各地の歴史について詳しく書かれています。生涯学習課及び各公民館で販売していますので、歴史学習にぜひお役立てください。



▲笠原の水田から見つかった埴輪(市指定文化財)

鴻巣市史・川里町史

好評
発売中

◆鴻巣市史（通史編・民俗編・資料編）

◆川里町史（通史編・資料編）

価格／【1冊】1,500円、【セット価格】鴻巣市史（全11巻）＝10,000円、鴻巣市史通史編（3巻）＝3,000円、川里町史（全4巻）＝3,000円

※吹上町史は在庫切れのため販売しません



懐かしの写真を募集



令和2年度は、平成17年10月に鴻巣市・吹上町・川里町が合併してから15周年を迎えます。今までの歩みを振り返り、未来への新たな一步の記録となるよう、合併した平成17年前後に撮影された写真を募集します。ご提供いただいた写真は、式典や市が発行する冊子、市ホームページで活用させていただきます。

対象／平成17年（2005年）前後に撮影された市内のイベントや風景等の写真

※被写体に許諾が必要な場合は、応募者が承諾を得てください

注意事項／○個人情報・著作権等に支障がないものに限り、○市の発行物等に使用できるものとします ○お預かりした写真は整理作業後返却します

申込み・問い合わせ／5月1日(金)までに、任意の様式に住所・氏名・電話番号・撮影時期・撮影場所を記入し、写真又は写真データを添付のうえ、持参・郵送・メールで秘書課（〒365-8601中央1-1・内線2013・メールkoho@city.konosu.saitama.jp）

